

■ 世界自閉症啓発デー 2018・静岡 ■

～ 講演会とシンポジウムの開催について ～

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。

「自閉症スペクトラム」という言葉は知られるようになりましたが、具体的な支援の仕方については、あまり広まっていません。障害を理解し、本人を理解し、本人に合った環境の調整や支援が行われれば、特性はあっても力を発揮でき、問題も改善されます。当協会は、このような理解を広めるため各種の活動をしていますが、以下のように「浜松」「静岡」「沼津」の3カ所で講演会とシンポジウムを開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

ご参加を希望される方はお早目にお申込みください。

■ 講演会およびシンポジウムの日程、講師およびテーマなど

◎ 講演会（10：00～14：45）

（1）浜松会場（アクトシティー浜松 研修センター）3月18日（日）

午前の部（講演）10：10～11：55	午後の部（講演）13：00～14：45
（講師）安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本的なお話をさせていただきます。	「幼児期・学齢期の支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。
（講師）門眞一郎先生 児童精神科医	
「知的に高い人の支援」 ○対象とする人 知的障害がない、あるいは軽度 思春期から成人期の人 ○話のポイント 知的障害がない、軽度であるということは障害が軽いということではありません。知的に高い人の抱える困難性、つらさや、支援についてお話いただきます。	「コミュニケーションの課題と支援」 ○対象とする人 知的に重度の人から軽度の人まで 幼児期から成人期まで ○話のポイント 意思疎通がうまくいかないことが、自閉症の特性を持つ人の生活のさまざまな場面で課題となっています。このことの意味と支援についてお話いただきます。

(講師) 木村重之先生 横浜やまびこの里 東やまたレジデンス 副施設長	
<p>「成人期における施設の利用と支援」</p> <p>○対象とする人 成人期 知的に重度の方</p> <p>○話のポイント 成人期における日中支援や施設、グループホームなどにおける各種の支援について具体的な事例を含めてお話いただきます。</p>	<p>「生きる力を育てる」</p> <p>○対象とする人 学齢期から成人期 知的に中程度から重度の方</p> <p>○話のポイント 誰でも、大人になって自立できる力を育てたいと考えますが、自立とはどのようなことでしょうか。何でも一人でできるということは簡単ではありません。それぞれの持つ力に応じた自立について考えます。</p>

(2) 静岡会場 (グランシップ) 3月25日 (日)

午前の部 (講演) 10:10~11:55	午後の部 (講演) 13:00~14:45
(講師) 安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
<p>「自閉症スペクトラムの理解と支援」</p> <p>○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで</p> <p>○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本的なお話をさせていただきます。</p>	<p>「幼児期・学齢期の支援」</p> <p>○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで</p> <p>○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。</p>
(講師) 日詰正文先生 厚生労働省・発達障害対策専門官	
<p>「働く力を伸ばす、持てる力を生かす」</p> <p>○対象とする人 学齢期から成人期まで</p> <p>○話のポイント 大人になったら、就職し経済的に自立できるようになりたいということは、誰でもが思うことです。まあ、実際には、知的な障害の軽重や得意・不得意の違いなど、いろいろな方がおられますので、それぞれの人が持っている力を伸ばすこと、持てる力を生かす考えが大切です。</p>	<p>「学齢期から成人期の制度と先進事例」</p> <p>○対象とする人 学齢期から成人期まで</p> <p>○話のポイント 支援のための各種の制度と、日本各地の先進事例の紹介をさせていただきます。</p>

(3) 沼津会場 (サンウェルぬまづ) 3月31日 (土)

午前の部 (講演) 10:10~11:55	午後の部 (講演) 13:00~14:45
(講師) 安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
<p>「自閉症スペクトラムの理解と支援」</p> <p>○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで</p> <p>○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本なお話をさせていただきます。</p>	<p>「幼児期・学齢期の支援」</p> <p>○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで</p> <p>○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。</p>
(講師) 松尾浩久先生 特定非営利活動法人 HEROES 理事長	
<p>「成人期における就労支援と施設利用」 ～西陣麦酒の取り組みから～</p> <p>○対象とする人 学齢期から成人期まで</p> <p>○話のポイント 大人になったら就職できるか、それとも施設利用がよいかと心配される方は多いと思います。松尾先生は京都市で自閉症の人たちと一緒に西陣麦酒の醸造・販売に取り組まれています。この実践を中心にお話いただきます。</p>	<p>「行動障害の伴う人の支援」</p> <p>○対象とする人 学齢期から成人期まで</p> <p>○話のポイント 不登校、行動障害など困難な課題を抱える人の理解と支援についてお話をさせていただきます。</p>

◎ シンポジウム (15:00~16:30)

テーマ：自閉症スペクトラムの特性を持つ人の幸せ

シンポジスト：保護者、支援者、講師など

※ 現在、調整中です。

決定しましたら、ホームページよりお知らせします。

■ 定員、参加費、申し込み方法など

(定員) 浜松会場 約 180 名
静岡会場 約 200 名
沼津会場 約 200 名

(参加費) 一般：1,000 円

※ 講演会の午前、午後およびシンポジウムのすべてに参加いただいても、一部だけに参加いただいても、参加費は変わりません。

※ 会員、賛助会員、研究会員は参加費は不要です。(申し込みは必要です)

(申込み) 参加を希望される方は、次のアドレスに設置してある申込システムよりお申込みください。

浜松会場 <http://www.ei-21.com/cgi-bin/sasj-mousikomi-20180318/>

静岡会場 <http://www.ei-21.com/cgi-bin/sasj-mousikomi-20180325/>

沼津会場 <http://www.ei-21.com/cgi-bin/sasj-mousikomi-20180331/>

※ 申し込みは個人ごとでお願いします。

※ 当システムから申し込みができない場合や、ご不明なことがありましたら当協会事務局までお問合せください。

<静岡県自閉症協会事務局> 080-3620-8711

※ 資料や会場の準備の関係から、午前、午後の講演会については参加を希望される先生のお名前をお聞きいたしますが、参加を希望される方が多く当日ご希望の会場にお入りいただけない可能性があります。できるだけご希望に沿えるよう努力いたしますが、ご理解をお願いいたします。

■ その他

- 受付開始時間は各会場ともに9:30です。
- 沼津会場(サンウェルぬまづ)への交通手段について
 - ・会場の駐車場は満杯になり、止められない可能性があります。会場周辺には他に駐車場がなく、沼津駅周辺で探していただく必要があります。できるだけ徒歩かバスのご利用をお勧めします。
 - ・沼津駅から徒歩で約15分です。
 - ・沼津駅南口から路線バスを利用することができます。
- 静岡県自閉症協会では世界自閉症啓発デーの取り組みとして、当講演会とシンポジウム以外にも様々な活動を行います。(今後、順次掲載を予定しています)詳細は、ホームページから御覧ください。

主 催：静岡県自閉症協会

後 援：静岡県 静岡市 浜松市 沼津市

(予 定) 静岡県作業所連合会・わ 静岡県手をつなぐ育成会

静岡県知的障害者福祉協会

協 力：静岡県発達障害者支援センター 静岡市発達障害者支援センター

浜松市発達障害者支援センター

以 上